

2月10日（月） 全校朝会 校長先生のお話です

～学校生活で経験したことを 地域の生活でも生かそう～

おはようございます。お話をします。

今日からまた体育館での朝会が再開しました。6年生も個々の目標を終え学校に帰ってきました。毎年、1月から6年生の教室を通ると、机が空いている光景を見て、寂しい思いをします。でも、毎年この週から全員がそろい、卒業に向かって協力する姿を見せてくれるのも楽しみの一つでした。学習発表会であんなに素晴らしい舞台発表ができた6年生です。卒業までの残り1か月と少し、その頃を思い出し、学年で一つのチームになって立派な姿を後輩たちに、お世話になった先生方に、そして保護者のみなさんに見せてください。

さて、校内を見る限り、100%は中々難しいけれど、みながルールを守り、けじめをもって学校生活を送っている。そして、取り組んでいる教育活動も成果を上げています。こうした経験を、学校以外でも生かすことが学校教育の最終目標です。何回かこんな話をしたことがあると思います。「みなさんは清新一小の児童です 清新一小の看板を背中にしょっている」ということです。保護者の方を含めて、地域の人たちは、みなさんの学校で頑張っている姿のすべてをしりません。地域でのみなさんの行動ですべて判断されてしまいます。時々、地域からの問い合わせの電話がかかってくると、「なんでそんな行動や言動をしてしまうのだろう」と思います。地域で行動する時も、学校生活に置き換えてみれば、問い合わせがくることはないのではないのでしょうか。学校生活を見ていない地域の方たちは、地域での悪い行動をすべてだと判断するのは当たり前です。一人一人の地域での行動が責任あるものだと思ってください。

3学期の残された期間、全員で6年生が良い卒業式を迎えられるように協力していきましょう。お話を終わります。